

KOTOKU GROUP

CSR report

2025



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



HP



Instagram



WE CONTRIBUTE TO CONSERVING
THE GLOBAL ENVIRONMENT.

らしさを守って、 未来へつなぐ。

KEEPING OUR IDENTITY,
CONNECTING TO THE FUTURE 

04	経営理念・経営方針・経営目標	16	新規許可取得
05	環境・労働安全方針	17	興徳ホールディングス株式会社
06	大阪・関西万博に出展しました！	18	株式会社興徳クリーナー
08	数字で見るKOTOKU GROUP	20	株式会社ケーシーエス
09	財務情報・非財務情報	22	株式会社ユウシン
10	環境・労働安全衛生&BCPの取り組み	24	株式会社ケーシーエス・エス
12	地域コミュニケーション	25	株式会社イー・ガジェット
14	KOTOKU GROUPが創る資源循環	26	サービスメニュー

1970	• 汚泥処理、タンククリーニングの会社 「株式会社興徳クリーナー」を設立し事業開始
1987	• 有害な産業廃棄物の収集運搬を担う 「株式会社ケーシーエス」が事業開始
2003	• ISO14001認証を取得
2010	• 物流を支えるドライバーの育成と確保に取り組む 「株式会社ケーシーエス・エス」が事業開始 • OHSAS18001認証を取得
2011	• 産業廃棄物の管理システムを担う 「株式会社イー・ガジェット」が事業開始
2016	• 「フッ素を含有する排水から フッ化カルシウムの製造方法」特許取得
2017	• 廃棄物処理施設の清掃から解体作業を専門とする 「株式会社ユウシン」が事業開始 • KOTOKU GROUP の経営管理・統括するため 「興徳ホールディングス株式会社」を設立し ホールディングス体制を構築
2019	• 「アルミニウム化合物溶液の製造方法」特許取得
2020	• OHSAS18001認証からISO45001認証へ移行
2022	• 「無電解メッキ廃液の処理方法」特許取得
2023	• 「フッ化カルシウム汚泥の洗浄方法」特許取得 • 「銅イオン及び水溶性有機物含有エッチング排水 の処理方法」特許取得

私たち KOTOKU GROUPは、これまで大切にしてきた
適正処理やりサイクルを基盤とし、新たな技術を取り入れ
持続可能な資源循環を追求し、環境創造企業として成長し続けます。

経営理念

私たちの使命は、
世界の環境保全に
貢献することです。

WE CONTRIBUTE TO CONSERVING
THE GLOBAL ENVIRONMENT.



経営方針

私たちの使命を果たすために

「人を大切に、物を大切に」を社是と定めます。

人を大切に。

お客様に優れたサービスを提供するために、地域や社会に貢献するために、社員の豊かな自己実現のために、情報を常に発信し相互理解を深め、安全に配慮された活動を「人を大切にする」。これは永続的に事業活動を続けて行く上で不可欠な事である。

物を大切に。

3R(Reduce、Reuse、Recycle)の活動とは、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会＝循環型社会をつくろうとすることである。「物を大切にする」ことは、私たちが目指す新しいビジネスの基本となる考え方である。

経営目標

先進的で持続可能な企業経営を目指す。

挑戦する姿勢を常に持ち、企業の継続的発展を目指すとともに、揺るぎない財務基盤を構築する。

処理技術の確立と新たな環境技術を創造する。

最適な処理技術の確立と新たな環境技術の開発・実用化を行い、オンリーワン環境創造企業を目指す。

円滑な企業環境を構築する。

社外に対しては、常に情報を発信し、円滑な関係を構築するとともに、社内に対しては環境のスペシャリストとなれる人材を育成する。法令遵守の徹底のもとに企業の社会的責任を全うする。

環境・労働安全方針

当グループは、社員の安全と健康の確保を企業存立の基盤とし、

産業廃棄物処理・資源循環に取り組み、

経営理念「世界の環境保全に貢献する」を目指します。

環境保全活動と労働安全衛生活動を企業経営の課題とし、以下の方針を定めます。

01

事業活動における環境側面及び危険源を認識し、環境負荷の低減、労働災害リスク低減の活動を推進するとともに、気候変動と資源循環への取り組みも推進します。

02

環境目標および労働安全衛生目標を設定し、その達成に努力するとともに定期的な見直しを行い、環境・労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

03

環境側面に関連する法令、労働安全衛生関連法令、地域及び当グループの関係機関からの要求事項を遵守します。

04

従業員に環境および労働安全衛生に関する教育・訓練を実施し、協議及び参加の機会を設け、これらを事業活動に活かすとともに、環境保全と労働災害防止の意識向上を図ります。

05

環境保全活動および労働安全衛生活動に関する情報の求めに応じ公開し、当グループの取り組みが理解されるよう努めます。

ステークホルダー KOTOKU GROUP のつながり



大阪・関西万博に出展しました！

WHAT's RESOURCE RECYCLING? ◆

資源循環・脱炭素への取り組み ゴミから花へ



工場での「ものづくり」の過程では、さまざまな種類の廃棄物が発生します。それら廃棄物のうち廃液として処理する液体の中から窒素を取りだし、花を育てるための肥料に作り変えます。このように廃棄物から新たな資源へ生まれ変わらせる取り組みをしています。

詳細動画は
こちら



EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN ◆

資源循環を見える形に！

— 大阪ヘルスケアパビリオン
リボンチャレンジエリア
バーチャルパビリオン出展

展示期間
2025.
5/13-5/19



BACKGROUND ◆

検討から 出展に至るまで…



大阪・関西万博では、脱炭素をテーマとしたミライの資源循環技術を紹介しました。当社は元素を基盤としたリサイクル技術を研究しています。工場廃液のリサイクルをする中で、「窒素を回収し農業肥料（硫安）にすれば、CO₂削減にもなる」と考え、回収施設と農業試験場を設置して「ゴミから花へ」にチャレンジしました。デカボスコア[※]で環境価値の見える化にも取り組み、その成果を万博で展示しました。今回の経験を活かし、これからも脱炭素と資源循環に取り組みます。

※商品やサービスにおけるCO₂排出量の削減率をスコア化した指標

これからの未来に向け

資源循環の輪を広げていくことを目指しています。人、くらし、仕事など、さまざまな分野に環境課題があります。私たちは新しい技術で課題解決策を提案し、資源循環の輪を支えていきます。「ゴミから花へ」は、そのひとつです。地域に寄り添い、資源循環と脱炭素に取り組み、それを世界の環境保全に役立てていきます。



万博出展の 振り返り

みんなで咲かせた、万博への挑戦の花

20年ぶりの日本・大阪で開催される万博プロジェクトメンバーの公募を知り、「こんなチャンス、次はない」と思い立候補しました。「ゴミから作った肥料」を使つての花の栽培は、さまざまな方の協力のおかげで成り立ちました。何もかも手探りでしたが無事に展示ができて安堵しています。今後も業務を通じて新しいことに挑戦していきます。

業務部 久保 千夏



産業廃棄物処理実績

収集運搬実績



総合計
99,547t

産業廃棄物

70,225t



特別管理産業廃棄物

22,103t



その他

(薬品・資材等、廃棄物対象外)

7,219t

中間処理実績



総合計
55,370t

産業廃棄物

汚泥

23,452t



廃油

34t



特別管理産業廃棄物

特管廃酸

11,214t



廃酸

5,016t



廃アルカリ

6,167t



特管廃アルカリ

9,487t



処理後物実績



総合計
22,302t

リサイクル

有価物売却

1,822t



資源化

14,358t



金属回収など

145t



セメント原料化

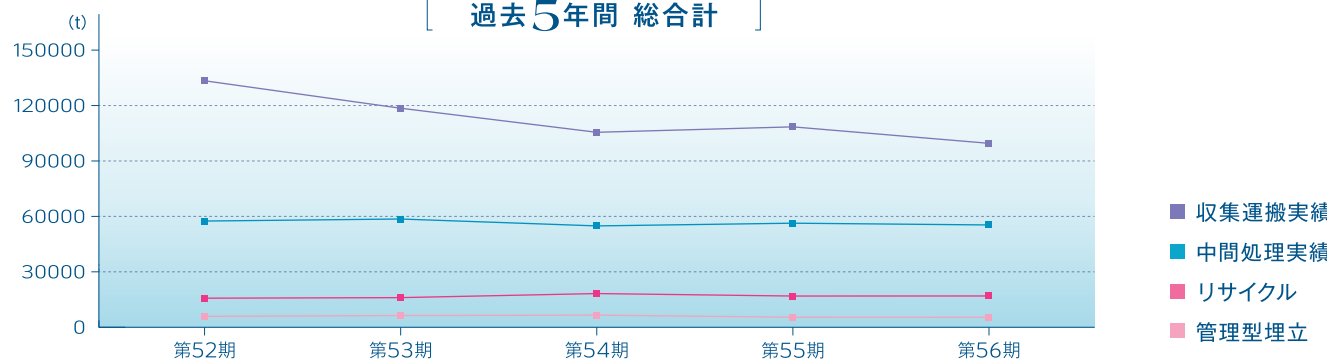
610t



管理型埋立

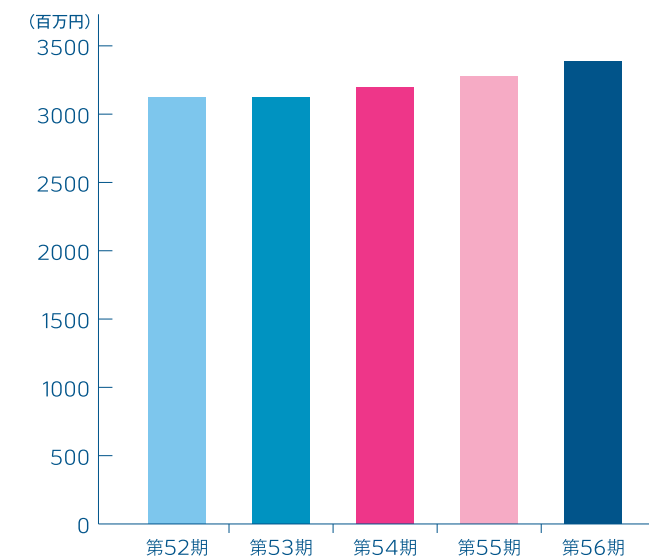
5,367t

[過去5年間 総合計]

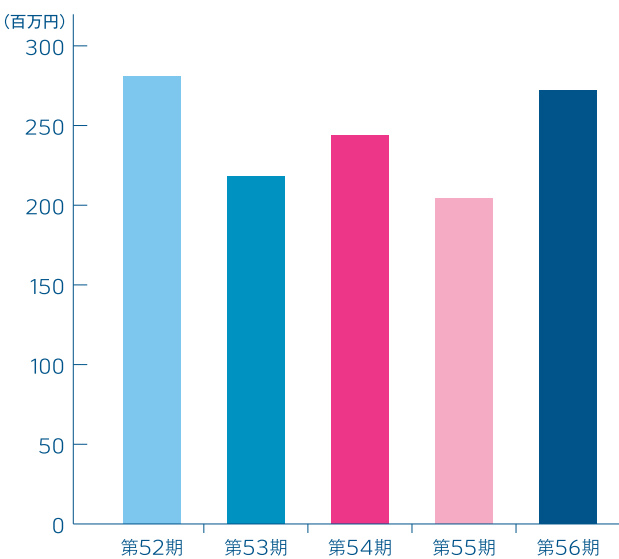


財務情報

〈 グループ売上高 〉

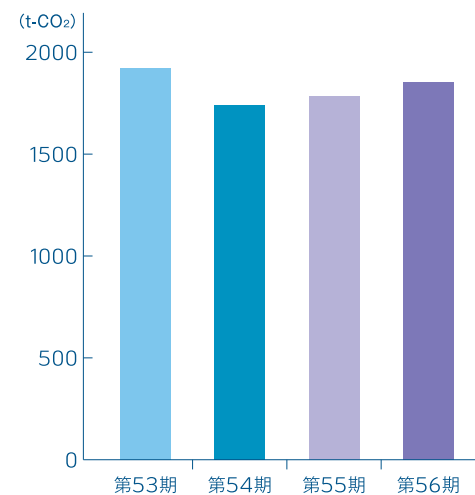


〈 グループ営業利益 〉



非財務情報

グループCO₂排出量



月平均残業時間

営業管理部門

6.86時間



中間処理部門

16.82時間

収集運搬部門

49.52時間

平均有給休暇取得率

※前年度実績

55.23%



働き方改革

-生産性向上を目指して-

[株式会社興徳クリーナー]

※2025年9月～

実労働時間

8 ▶ 7.5時間

年間にすると...

所定労働時間

122.5時間

減少

※残業時間削減にも取り組みます。

環境・労働安全衛生&BCPの取り組み

IMS & BCP



◆◆◆ IMSマネジメントシステム

ISO14001(環境マネジメントシステム)とISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)を統合した「IMS(Integrated Management System)」を構築しています。環境保全と労働安全衛生の向上を目指し、Plan-Do-Check-Actionの基本を実践しています。

ISO14001認証

環境マネジメントのレベルを継続的に改善していくPDCAを実行する。



〈登録日:2003年4月9日〉

ISO45001認証

労働災害リスクを低減し、従業員や社会からの信頼獲得、組織の価値向上の実現を目指す。



〈登録日:2020年4月7日〉

◆ 産業医講話

社員の健康・衛生管理を目的とした産業医による講話を実施。2カ月毎に尾生工場、岸之浦工場、稲葉事業所のいずれかの事業所で行っています。これまでの内容として、肥満症、紫外線、腰痛などをテーマに講話が実施されました。



◆ 熱中症予防

2025年6月以降より「職場における熱中症対策の強化」が事業者には義務付けられました。主な対策として、水、塩分タブレットの支給、空調服の着用や事業所内に熱中症指数計を設置し、適度な休憩や水分補給を促す声掛けなどを行っています。

◆ 飛散・漏洩・悪臭対策

ガスの発生や廃液の漏洩に備えガス測定器や吸着マットを含む緊急対応セットを車両に積載。場外への漏洩を遮断するため、pH監視装置を設置。また、搬入可能か判断するため事前にサンプルなどで臭気を確認。工場では臭気測定装置による監視(1日3回)、噴霧装置やスクラバーを導入し、対策をしています。



◆ インフルエンザワクチン職域接種

福利厚生の一環で11月頃にインフルエンザ予防接種(任意制)を事業所内で行っています。職域接種率は約51%(2024年度実績)。また、労働安全衛生法に基づき対象となる事業所では6カ月毎に特殊健康診断や歯科検診を実施しています。

◆◆◆ BCP(事業継続計画)

事業継続計画(Business Continuity Plan)とは、企業が災害、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合に、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行う活動や緊急時の事業継続方法などを決めておく計画のことです。当社では、社員の安全を確保し、できるだけ早くご依頼に対応できるような体制づくりを整えています。



津波



停電



大雪



火災



台風



地震

稲葉事業所

台風接近情報を事前に詳しく入手し、台風の来る方向に向かう車両については注意を喚起し、状況に応じて引き取り・搬入予定先に協力依頼の連絡をする。

岸之浦工場・尾生工場

台風接近情報を詳しく入手し、交通事情悪化等に伴う処理剤入手困難事態に備え、早めに在庫量を増やす。

全社

帰宅困難時に備え、寝具、食料、飲料水、洗面具等を用意する。

稲葉事業所

ドライバーの安否確認、居場所、被害状況の確認を行う。

岸之浦工場・尾生工場

振動による容器類の落下に備え、積み上げ高さの制限を設ける。

全社

帰宅困難時に備え、寝具、食料、飲料水、洗面具等を用意する。

◆◆◆ 資格取得支援制度

社員の役割やキャリアビジョンにあわせて成長を支援できるよう社内・社外研修や資格取得支援制度を設けています。業務に関わる研修や資格を取得することで安全な職場環境づくりにもつながっています。

[優良産廃処理業者認定]

環境省が廃棄物処理法に基づいて創設し施行している制度です。優良基準は5つの基準で構成されています。

- ① 遵法性 ② 事業の透明性 ③ 環境配慮の取組 ④ 電子マニフェスト ⑤ 財務体質の健全性
- 情報公開による透明性とコンプライアンスを重視した適正処理に努め、認定を取得しております。

地域コミュニケーション

Local Communication

◆◆◆



第三者
レビュー

地域の発展に
なくてはならない
環境分野のスペシャリスト

岸和田商工会議所
会頭 中井 秀樹 様

近年、商工業者の経済活動においては、気候変動への具体的な対策が求められており、「環境保全」や「資源循環」が重要なキーワードとなっています。株式会社興徳クリーナーさんをはじめ、KOTOKU GROUP各社は、経営理念である「世界の環境保全に貢献する」に基づき、先進的な環境ビジネスを展開しておられます。特に、産業廃棄物の適正処理に心がけ、環境保全と資源循環に資するリサイクル技術の研究開発にも積極的に取り組んでおられます。

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）では、「ゴミから花へ」をテーマに、工場廃液から窒素を回収し、それを植物の肥料として再利用するリサイクル技術を、大阪ヘルスケアバビリオンにて展示し、世界に向けて発信されました。岸和田市は、先端技術企業や研究開発機関の誘致に向けた再開発計画が検討されています。岸和田商工会議所としても、大阪府内の商工会議所が連携して進める南大阪の活性化に向けた「グレーターミナミ」構想の中で、

この再開発を推進し、新たなビジネス機会の創出に取り組んでいます。商工業者の取り巻くビジネス環境は日々変化しています。当所は、商工業者の持続的な発展と地域の活性化のために、企業誘致や設備投資の促進に取り組んでいます。株式会社興徳クリーナーさん、KOTOKU GROUP各社には、「環境保全」と「資源循環」にご活躍いただき、商工業者の経済活動を支える環境分野のスペシャリストとして、今後も産業発展への貢献を期待しております。

01. 環境技術の構築 02. 企業環境の構築 03. 法令遵守の徹底
04. 適正処理 05. 情報発信 06. 人材育成 07. 挑戦する姿勢

清掃
解体

産業廃棄物
収集運搬

産業廃棄物
中間処理

再生肥料で植物を栽培

管理システム

人材派

E-GADGET

新規許可取得

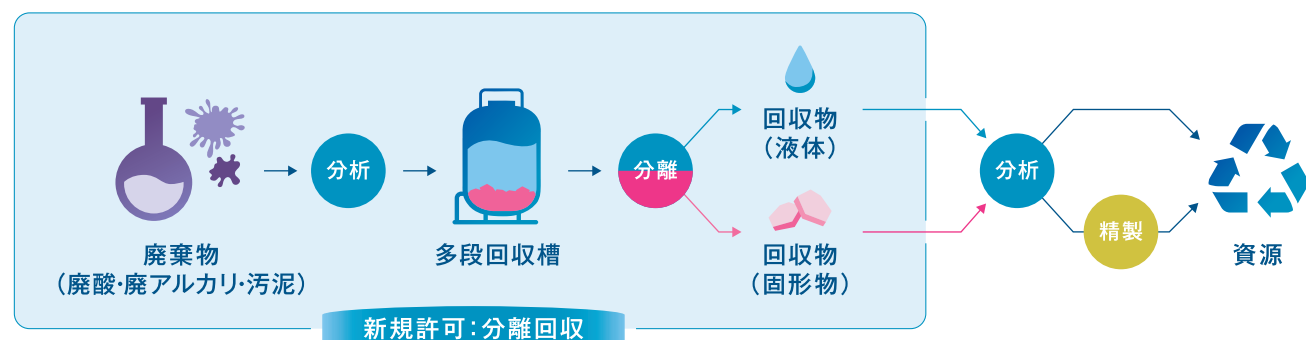
KOTOKUモデル 廃棄物は資源



資源循環を実現する物質回収事業

廃棄物を資源として捉え、個別処理や多段処理を行うことで
回収物の高純度化を実現した処分方法である“分離回収”の新規許可を2025年3月に取得しました。
回収物の循環利用を推進するため、用途に応じて適切なプロセスで精製します。
KOTOKUモデルの廃棄物処理によって、資源循環の高度化を目指します。

★ 処理フロー 一例



分析 + ビーカーテスト



多段回収槽



化学品製造施設Ⅰ
(気液分離)



化学品製造施設Ⅱ
(固液分離)



回収物(例)

Kotoku Holdings Co., Ltd.

興徳ホールディングス株式会社

KOTOKU GROUPの持ち株会社で、グループ全体の経営基盤の強化を行っています。各社の既存事業の確立と新規事業の創出をバックアップし、グループ全体の成長を目指します。循環型社会の構築に向け、お客様並びに地域の方々に愛されるグループとして前進し続けてまいります。

代 表 代表取締役 片淵 則人 所在地 〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号



KOTOKU GROUPの強み

1970年、汚泥処理・タンククリーニングの会社として、産業廃棄物の収集・運搬から処理・リサイクルといった既存の事業を深化しつつ、工場設備の特殊清掃・解体、試験研究開発やシステム開発など事業の多角化を図り成長してきました。法令遵守のもと、廃棄物の品目や性状に合わせた適切な処理を安定して提供できるようグループ全体で協力しています。今後もステークホルダーの皆様に安心・安全なサービスを提供し、社会課題に挑戦します。

REPRESENTATIVE VOICE

この度、興徳ホールディングス株式会社代表取締役に就任いたしました。私たちKOTOKU GROUPは、「世界の環境保全に貢献する」という使命を胸に、日々の資源循環事業に取り組んでいます。地域社会の持続可能性を守るため、社員一人ひとりが担当職務に誇りを持ち、安全で確実な処理と再資源化に努めています。その歩みの中で得られた成長の實りを社員や地域社会に還元し、「この会社があってよかった!」と感じていただける企業を目指します。これからも変わらず地域社会に寄り添いながら資源循環事業に取り組み、100億円企業を目指します。

興徳ホールディングス株式会社
代表取締役 片淵 則人

PERSONALITY

★ 趣味

・柔道(息子と一緒に稽古巡り)
・ゴルフ ・IT/AIツールの研究



株式会社興徳クリーナー

本社、尾生工場、岸之浦工場の3つの拠点を展開。産業廃棄物の適正処理・リサイクルを担い、環境負荷低減・安全な処理・再資源化につなげるため、廃棄物の性状や有害物質有無の分析も行います。また、コンプライアンス強化のための契約書やマニフェストのサポートも実施。

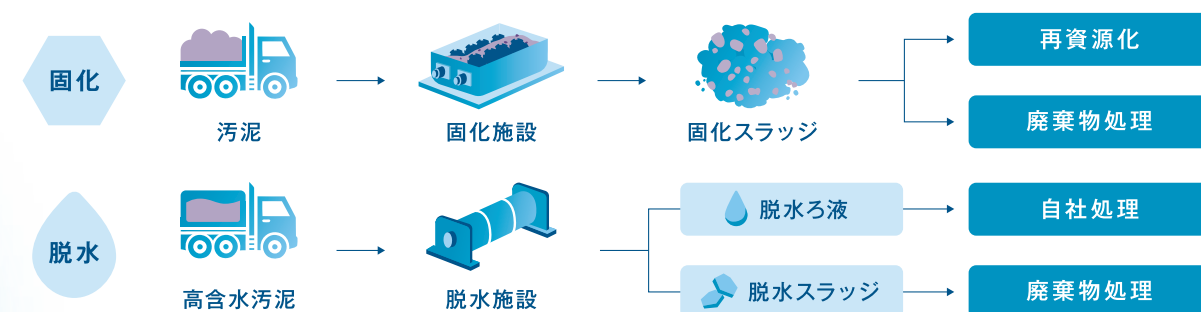
代 表 代表取締役 片瀧 一真 所在地 〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号

汚泥中間処理業 尾生工場

創業の地でもある尾生工場は、汚泥の中間処理を行います。脱水・固化の処分方法で、汚泥を適正処理し、再資源化にも努めています。



＋ 処理フロー



＋ 許可内容

許可番号	品目
産業廃棄物 / 第02720003317号	汚泥

資源循環の取り組み

- 01 環境技術の構築 03 法令遵守の徹底 04 適正処理

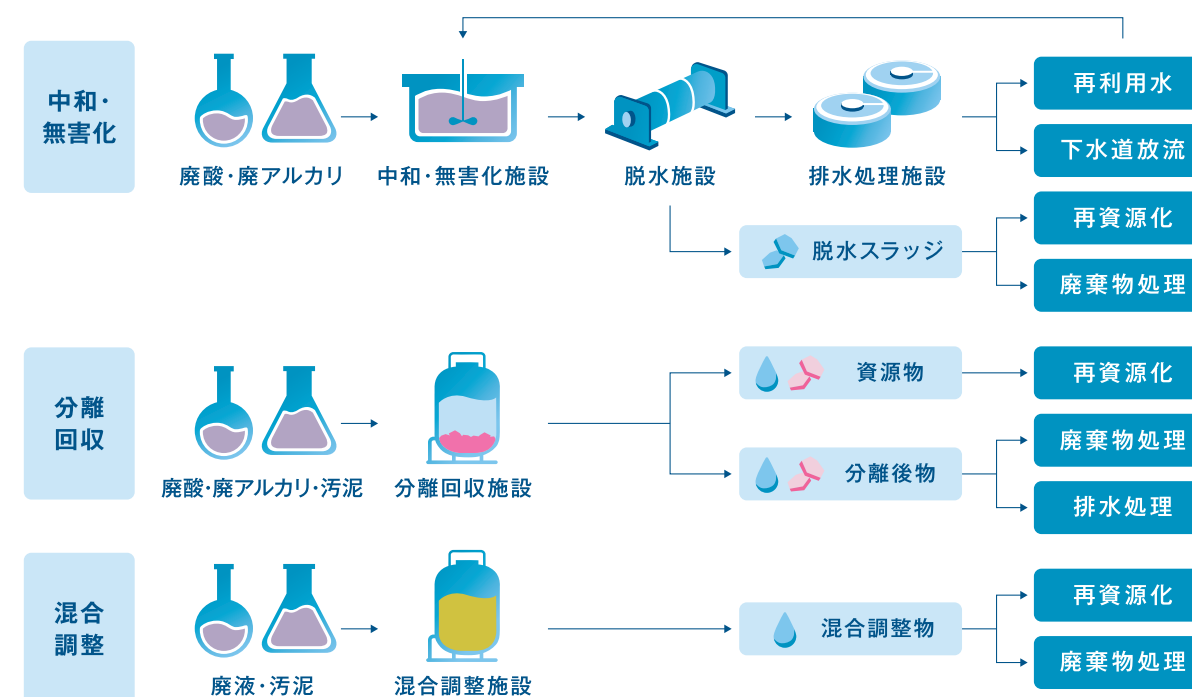
廃液・汚泥中間処理業

岸之浦工場（リサイクルセンター）

岸之浦工場は、廃液（廃油・廃酸・廃アルカリ）や汚泥の中間処理を行います。中和・無害化、分離回収、混合調整によって適正な処理と資源回収を実現しています。また、研究開発機能や分析室も備え、現場と連携した取り組みを進めています。



＋ 処理フロー



＋ 再資源化物（一例）



＋ 許可内容

許可番号	産業廃棄物 / 第02720003317号	特別管理産業廃棄物 / 第02770003317号
品目	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ (石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業 廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く) 以上4種類	廃酸(水素イオン濃度指数2.0以下のもの、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、砒素又はその化合物を含むことのみにより特定有害産業廃棄物となるものに限る。) 廃アルカリ(水素イオン濃度指数12.5以上のもの、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、砒素又はその化合物を含むことのみにより特定有害産業廃棄物となるものに限る。) 以上2種類

REPRESENTATIVE VOICE

この度、株式会社興徳クリーナー代表取締役役に就任いたしました。私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、高度な資源循環に取り組んでおります。廃棄物を資源と捉えて中間処理やリサイクルに努めています。さらに処理技術の向上や研究開発にも力を注いでいます。環境創造企業を目指し、社員一丸となって挑戦してまいります。

株式会社興徳クリーナー
代表取締役 片瀧 一真

PERSONALITY

- ＋ 趣味
・キャンプ
・銭湯



株式会社 ケーシーエス

「運ぶ」ことを主な業務とし、産業廃棄物、化学薬品及び一般貨物の運送を担います。
また、遺品整理などのお片付け事業も実施しています。

代 表 代表取締役 片淵 則人 所在地 〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号

運送事業

産業廃棄物収集運搬

多種多様な産業廃棄物・特別管理産業廃棄物を迅速かつ安全に収集運搬するノウハウや車両を有しています。また、低濃度（微量）PCB廃棄物の収集運搬業務を含めた処理方法のご提案も行っています。



薬品運送

化学薬品メーカーが製造した製品を、指定場所まで運送します。

塩酸、硫酸、苛性ソーダ、次亜塩素酸ソーダなどの化学薬品の性質をふまえ、適正に運送します。

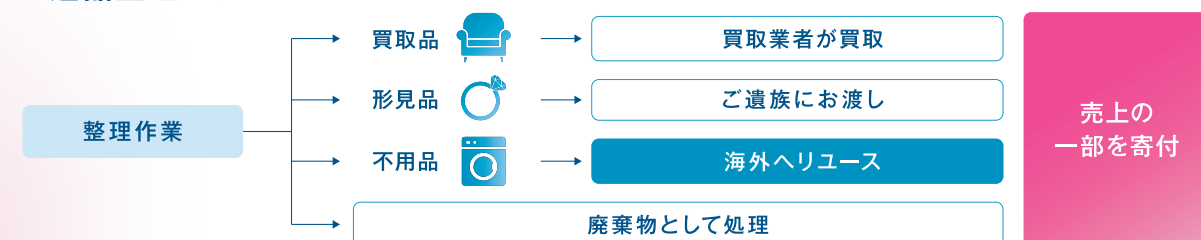
一般貨物自動車運送事業

産業廃棄物の収集運搬で培った確かな輸送技術を活かし、一般貨物においても物流サービスを提供しています。密閉式タンクローリーや低公害車両など多様な車種を保有し、安全・環境に配慮した輸送体制を構築し、お客様の信頼に応える輸送を提案しています。

お片付け事業

株式会社リリーフの「リリーフ泉南店」として事業を実施。
遺品整理から住空間整理サービス、リユースサービスなど
お客様の想いに寄り添って整理・清掃のお手伝いをします。

遺品整理のフロー



資源循環の取り組み

01 環境技術の構築 03 法令遵守の徹底 04 適正処理

保有車両紹介



ローリー車[10t/12t]



ローリー車(FRP)[13t]



ブロー車[10t]



バキューム車[10t]



スライドデッキ車[10t]



ウイング車[12t]・平ボディ車[1t/3t]



ユニック車[3t/8t]



ダンプ車[10t]



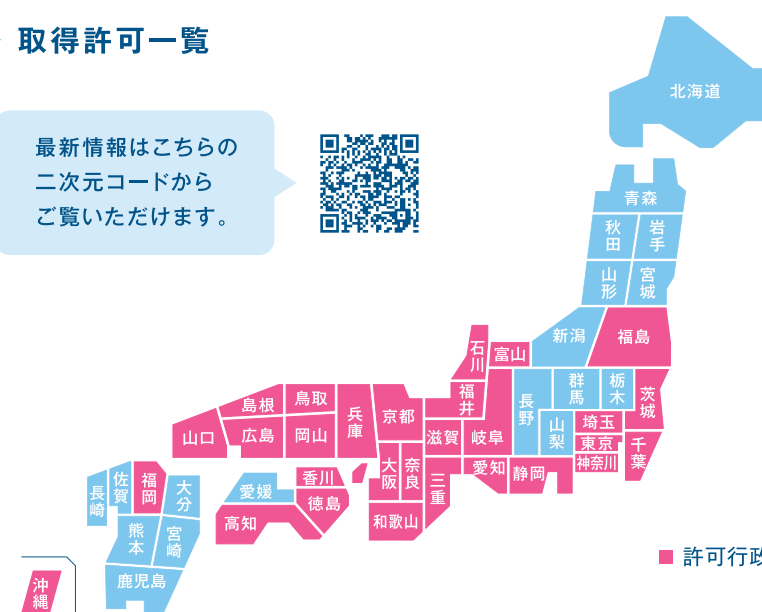
コンテナ車[6t/8t]



バックカー車[4t]

取得許可一覧

最新情報はこちらの
二次元コードから
ご覧いただけます。



REPRESENTATIVE VOICE

この度、株式会社ケーシーエス取締役役に就任いたしました。産業廃棄物収集運搬事業と一般貨物運送事業を基盤に、環境保全に貢献する新たなサービスの提供に挑戦します。安全と信頼を大切にしながら、持続可能な社会の実現と次世代に誇れる価値の創造を目指して邁進してまいります。

株式会社ケーシーエス
取締役 上出 広幸

PERSONALITY

◆ 趣味
・散歩



株式会社 ユウシン

各種タンク内の清掃作業、生産ラインや公害防止施設の洗管作業などを特殊清掃・メンテナンスを行うことで企業の生産活動を支え、環境保全に欠かせない事業を担います。事業活動を通じて経済と環境の両立に貢献していきます。

代 表 代表取締役 信貴 勇希 所在地 〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号

清掃解体業

＋ 各種薬品タンク清掃作業

ケミカル用ウェルデンポンプを用いて、各種製品タンクからドラム缶へ移送させ、処分先へ運搬します。吸引車両を使用しないため、従来作業と比較し安全に作業が行えるほか、コストダウンのご提案を行っています。



＋ 各種ピット清掃作業

専門資格を有するスタッフが作業計画を立て、現場監督を行い、安全第一で対応。排水処理設備、製造ライン、廃酸・廃アルカリ槽、重油タンク、塗装ブース、地下作業等、あらゆるロケーションでも地下25mまで対応可能です。



＋ 洗管作業（浚渫工事）

高圧洗浄車・洗浄機、曲管フレキシブルホースを用いて、さまざまな製造ライン、配管の洗浄に対応。側溝や地中埋設配管などの清掃作業を行います。



＋ 活性炭入替作業

「活性炭レシーバー」で使用済み活性炭の吸収作業とフレコンバッグ詰めを平行して実施し、作業コストを削減。活性炭の販売も行っています。



特殊機械・設備

＋ 活性炭レシーバー

液体や気体から不純物や汚染物質を吸着・除去するために使用。不要な物質が活性炭に吸着され、クリーンな液体や気体を生成。



＋ ケミカル用ウェルデンポンプ

腐食性・有害・引火性・揮発性のある液体を移送する際に使用。安全な液体の取り扱いが可能。



＋ サンドブラスト

錆や汚れのある対象物に、砂などの細かい粒を高速で吹き付け、対象物から錆等を落とすために使用。



＋ 保有車両紹介



ブロワー車[4t/8t/10t] 吸引車・風量40



ブロワー車[10t] 超強力吸引車・風量70



高圧洗浄車[4t]

＋ 取得許可一覧

最新情報はこちらの
二次元コードから
ご覧いただけます。



■ 許可行政

資源循環の取り組み

02 企業環境の構築 03 法令遵守の徹底 04 適正処理

REPRESENTATIVE VOICE

資源には限りがあります。資源を有効活用し、廃棄物発生を最小限に抑え、次の世代に豊かな社会を引き継ぐ事が今を生きる私たちの使命だと考えています。社員一人ひとりの意識と行動が未来を大きく変える力になると信じ、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

株式会社ユウシン
代表取締役 信貴 勇希

PERSONALITY

◆ 趣味
・ゴルフ



株式会社 ケーシーエス・エス

「物流の進化を育てる力でリードする」

中型から大型のトラックを運転できる高い技能と専門性をもつドライバーの派遣を通じて、お客様の物流サービスを支えます。さまざまな研修制度を導入し最適な人材育成に尽力します。

代 表 代表取締役 片瀬 則人 所在地 〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号



人材派遣業



★ 派遣前研修

- ・廃棄物を収集運搬する上で必要な廃棄物処理法について
(産業廃棄物と一般廃棄物の違い、 manifests 制度など)
- ・トラックドライバーとしての心構え
(道路交通法、体調管理など)
- ・安全や環境に配慮した運転について
(アイドリングストップ、エコドライブなど)

★ キャリアアップ研修

- ・現在運転可能な車両よりも運転技術が求められる車両を運転できるように支援
- ・廃棄物管理士や運行管理者の資格取得支援

資源循環の取り組み 02 企業環境の構築 06 人材育成 07 挑戦する姿勢

株式会社 イー・ガジェット

お客様の生産性向上と働き方改革の導入を支援いたします。

基幹システム「産廃三昧」を中心とした、ソフトウェアサービスから、オンプレミス・クラウドの運用管理・運用環境の構築および保守から運用管理までの総括的なサービスを提供しています。

代 表 代表取締役 片瀬 則人 所在地 〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町二丁目2番15号

ITシステム・インフラ提供事業

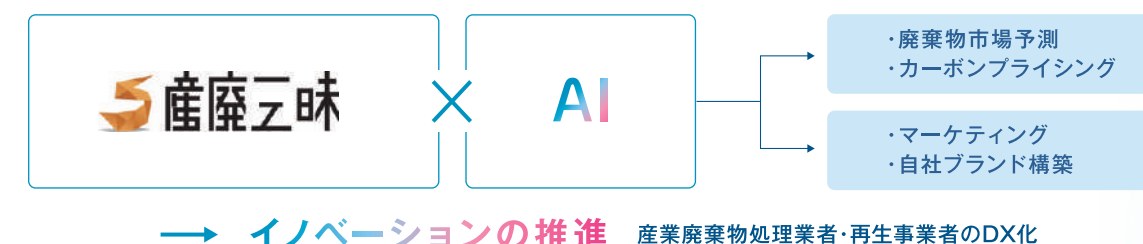


産業廃棄物の取引情報(品目・数量)と売上情報(商品・数量)の両方を一元管理しており、登録の二重化を防ぎ、効率化を図ることができます。また、導入企業からのお声を反映し、自動化やシステムチェックの多用化と計量器やPOSの連動などで生産性を上げる機能追加を続けています。産廃三昧は廃棄物処理業者様の生産性向上を支援するツールです。



- ・電子 manifests (JWNET) の連携
- ・電子契約書、電子請求書と連携
- ・トラックスケール(計量器)と連携
- ・現金自動支払機と連携 など

将来的に、生成及び分析にAI技術を組み合わせて、さまざまな情報を提供し、お客様の事業発展をご支援できるよう研究しています。



資源循環の取り組み 02 企業環境の構築 03 法令遵守の徹底 05 情報発信

REPRESENTATIVE VOICE

当社は「物流の進化を育てる力でリードする」のキャッチコピーを掲げ、産業廃棄物の収集運搬を担うドライバーを派遣し、資源循環に取り組んでいます。物流の進化を育てる力で、地域の皆さまと未来を築き、限りある資源を大切にしながら、安全で誠実なサービスをこれからも続けてまいります。

株式会社ケーシーエス・エス
課長 西垣 重成

PERSONALITY

- ★ 趣味
- ・ウォーキング
- ・洗車



REPRESENTATIVE VOICE

DX化を外部からご支援させていただくには、「広範囲な業務知識」と「最新のIT技術知識」が必要と考えています。業務ノウハウとして、産業廃棄物管理、契約、販売、請求、経理などの広範囲な業務知識で、お客様の案件を理解し、手法として最新のIT技術も含めて適切なご提案を行います。運用の維持管理を担いDX化も支援し、資源循環をサポートする会社を目指しています。

株式会社イー・ガジェット
専務取締役 三宅 義彦

PERSONALITY

- ★ 趣味
- ・シミュレーションゴルフ



Service Menu

KOTOKU GROUPはグループ会社をはじめ、これまで築いてきた協力会社様との連携により廃棄物処理だけでなく、お客様の生産活動に伴う“困った”に寄り添ったサービスを提供しています。ぜひお客様の窓口となる営業担当者にお声がけください。

Service:01

処分できる
廃棄物



汚泥



廃油



廃酸



廃アルカリ

いずれか含む場合のみ処分可能な有害物質
鉛・ヒ素・カドミウム

etc.

Service:02

運搬
できるもの



薬品



資材

廃棄物



燃え殻



汚泥



廃油



廃酸



ガラスくず



がれき類



鋳さい



廃アルカリ



廃プラスチック類



紙くず



木くず



ばいじん



PCB等



PCB汚染物



繊維くず



動植物性残渣



ゴムくず



金属くず



廃石綿等



感染性産業廃棄物

etc.

Service:03

施設
メンテナンス



活性炭入替作業



排水処理設備の清掃



側溝清掃作業



洗管作業



廃業した工場整理



浚渫工事



基礎工事



補修工事



タンク工事



配管修繕工事



解体工事

etc.

Service:04

清掃作業
(BtoC)



遺品整理



生前整理



リフォーム



建屋の解体



特殊清掃



ゴミ屋敷

etc.

Service:05

システム
販売



見積管理



契約管理



請求管理



マニフェスト管理



配車管理

etc.

Service:06

分析



水質分析
(放流時の下水等分析)



重金属六項目
(鉛・六価クロム)

etc.

Service:07

建設現場から
発生する
産業廃棄物の管理



詳細は営業担当へ
ご相談ください。

Service:08

薬品製品
販売



詳細は営業担当へ
ご相談ください。

◆ ご契約までの流れ ◆

01



お問い合わせ

02



現地確認

03



お見積・ご提案

04



ご契約

05



サービスご提供

お問い合わせはこちら



廃棄物に関することは
一度ご相談ください！